

放課後子ども教室NEWS



こちらの二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます →

えいごのじかん ~ 檜枝岐東雲こどもクラブ ~

9月26日(木)、檜枝岐東雲こどもクラブを訪問しました。東雲こどもクラブは平日のほぼ毎日、放課後の時間を使って身体を動かす運動や英会話等の各種活動を行っています。この日は檜枝岐児童館を会場に、檜枝岐中学校所属のALT ワイヤット先生が指導者となって英語に親しむ活動を行っていました。参加している子供たちは小学1・2・3年生ですので、ワイヤット先生の授業を受ける機会はほとんどありません。しかし小中一貫校ということもあり、普段から校内で会話したり、一緒に給食を食べたりと顔見知りの関係です。お互いをよく知る安心感の下で、子供たちは様々なゲームや活動を通して、思う存分英語に親しんでいました。



【すっかり顔馴染みです】



【おねがいします!】



4隅に色紙があります
背中越しに先生が…

【色の英語を使ったコーナーゲーム】



【数字を英語で言うと…】



【数字カード早取りゲーム 真剣です】

＜こどもクラブ担当 若山さん＞
「えいごのじかん」は月2回程度隔週で実施しており、ワイヤット先生に指導の協力をいただいています。先生とは毎日学校で顔を合わせていることもあって、子供たちは毎日にぎやかに活動を楽しんでいます。



キャッチした
人が英語で
話します

【ボールを使った英会話ゲーム】



イエーイ

【元気いっぱい】



【ワイヤット先生】

＜村教育委員会 星さん＞
児童数1名の学年もあるので、このように学年男女関係なく交わりながら放課後の時間を使っていろいろな活動を集団で楽しめるのがこのクラブのよさだと思います。

「放課後子供教室では、地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う学習や体験・交流等の多様な活動を推進しています。」(県発行リーフレットより)。ワイヤット先生が檜枝岐村のALTに赴任して3年半。先生は村に居住されており、子供たちだけでなく村の方々とも顔馴染みです。子供たちをよく知る地域の方が、自分の得意な分野で子供たちと関わる、という放課後子供教室の原点とも言える活動の一端を垣間見ることができました。檜枝岐では村の方々が様々な形で子供たちを見守り、活動に関わっています。